

ASSOCIATION OF
MUSICAL ELECTRONICS INDUSTRY

AMEI

News

2003年12月5日発行

Vol.22

「2003楽器フェア」にAMEIブース出展



平成15年10月23日より26日まで4日間にわたって「2003楽器フェア」がパシフィコ横浜で開催されました。音楽関連157社が出展、天候にも恵まれ、4日間合計92,347名の入場者で賑わいました。

AMEIとして12小間のスペース（24M通路面×6M奥行き）をとり、9社とJSPAが参加し、

●コンピュータミュージックをテーマに「Macintosh MIDI&Audio Solution」ブースと

●シンセサイザーの進化をテーマに「MIDI Museum」ブース

の展示とデモを実施、又MIDIハンドブックを無料配布した。

連日多くの音楽愛好家が詰め掛け、音楽ソフトの使い方・効果等のデモに聞き入った。

CONTENTS

- 「2003楽器フェア」にAMEIブース出展1
- Digital Music Notation 三澤リーダーインタビュー4
- AMEI 応用研究部会 池内部会長 インタビュー5
- 第5回 MIDI検定試験2級 実技試験の実施予定6
- 第7回 NAMMツアー募集案内7
- AMEI会員名簿とお知らせ8

AMEI NEWS Vol.22 / 2003.12.5

社団法人音楽電子事業協会 機関誌

発行：社団法人音楽電子事業協会 事務局

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-16-9

イトービル4F

TEL.03-5226-8550 FAX.03-5226-8549

発行人：中田 健

編集人：福田 誠（広報委員会）

編集協力：株式会社 博秀工芸

ホームページアドレス：<http://www.amei.or.jp/>

AMEIブース出展の内容・報告

● 「Macintosh MIDI & Audio Solution」

提 供：社団法人 音楽電子事業協会

後 援：アップルコンピューター株式会社

参加企業：9社

アイデックス音楽総研株式会社
 アップルコンピューター株式会社
 株式会社エムオーディオ
 株式会社オービット・ミュージクス事業部
 株式会社コルグ、株式会社フックアップ
 株式会社メディア・インテグレーション
 ヤマハ株式会社、ローランド株式会社

内 容：音楽制作やオーディオ編集のスタンダードと
 言えるMacintoshの数々の最新音楽ソリューション
 を一堂に集め、展示とデモンstrageを見て聞いて
 の両方を楽しむコーナー



参加各社のデモンstrageの内容

提供会社	タイトル	デモ内容
アップルコンピュータ(株) I	すべての人に作曲の技を。 Apple Soundtrack オーバービュー	誰でも最低限の費用と努力でオリジナル音楽をプロデュース出来る話題のソフトウェア「Soundtrack」の魅力と活用法を紹介。
アップルコンピュータ(株) II (協力(株)メディア)	Emagic Logicクイックツアー Logicの魅力凝縮して案内	世界中のミュージシャンから熱い支持を得ているEmagic Logicを使い、その魅力を凝縮して紹介。
アイデックス音楽総研(株) I	モグ・モジュラー V 徹底解説	基本性能と音色作成方法を中心に紹介。音作りの基本から様々な機能の活用法まで分かりやすく伝授されました。
アイデックス音楽総研(株) II	ストーム2.0で音楽制作 おまかせ!	「作曲ウィザード」や「ホール」等の機能を使用した新次元の音楽制作をじっくり楽しく説明されました。
(株)オービットミュージクス I	MOTU社最新ラインアップを 一度にご紹介する デモンstrage	プラグイン等を組み合わせた機能紹介や映像に対しての効果音や音楽を編集するMA作業等が紹介された。
(株)オービットミュージクス II	“Bright Size Mind” Live!	「サウンド & レコーディング01アベニュー」のMOTUコーナーで連載を行っている佐倉繁氏による、192KHzレコーディングプロジェクト等の様々なアーティストとの活動が紹介された。
(株)コルグ	Audio & Visual Performance	MacintoshをベースにmicroKONTROL、KAOSS PAD Entrancerを使用したライブパフォーマンスが披露された。
(株)フックアップ	Melodyne2.0で実現する、 新次元のオーディオ編集	DAWとの連携が強化されたMelodyne2.0の実際をデモ。プラグイン環境下での作業の実際と、その効率化がアピールされました。
(株)メディア・インテグレーション	DAW時代の定番音源 モジュールの最新型 「SampleTank 2」デモ	音色、エンジン、エディット機能のすべてで大きな進化をとげたSampleTankの新バージョンが公開された。
ヤマハ(株)	01Xスペシャルセミナー	Macintoshベースの音楽制作において01Xをフル活用した最新の制作手法をご紹介されました。
ローランド(株)	次世代マシン「VariOS」の実力! (ベースプレイヤー 清水玲氏)	松浦亜弥、モーニング娘。等のレコーディングで活躍中の清水玲氏によるセミナー。オーディオ処理の新機軸「VariOS」の実力がデモされた。

「MIDI (Synthesizer) Museum」

往來の名器：MIDI誕生20年と共に発展してきた、アナログからデジタルまでシンセサイザー・ビンテージモデルを一堂に集め、JSPAスタッフがその進展を解説と演奏でデモする、トークショウ。

提供：社団法人 音楽電子事業協会

出展製品提供：株式会社コルグ、ヤマハ株式会社、ローランド株式会社、JSPA

往年の名器陳列：「CZ-101」「800DV」「Polysix」「M1」「Jupiter-8」「D-50」「MC8シーケンサー」「DX1」「DX7」「MoogⅢC」「ARP Odyssey」「EMUモジュラ型」「Prophet-10」

演奏と解説：日本シンセサイザープログラマー協会

- ・松武秀樹氏 ご存じYMOの第4のメンバー、JSPA 会長
- ・大浜和史氏 プレーヤーとして開発にも関わったMIDIのご意見番、JSPA 理事長
- ・篠田元一氏 キーボード&アレンジャーの第一人者理論書の著者、JSPA 理事
- ・福田裕彦氏 超パフォーマンスプレーヤー、音作りで一世風靡した生福の福、JSPA 会員



福田氏と大浜氏と篠田氏



松武氏と篠田氏

MIDI規格制定の経緯

1983	MIDI規格	Version 1.0	MIDIの基本規格制定
1987	MMA-0001	MIDI Time Code(MTC)	SMPTEタイムコードの送受信
	MMA-0003	Sample Dump Standard(SDS)	サンプリングデータの送受信
1991	RP-001	Standard MIDI Files(SMF)	演奏データの標準保存形式
	RP-002	MIDI Show Control(MSC)	舞台照明機器類のコントロール
	RP-003	General MIDI Level1(GM)	音源の音色や機能の標準化仕様
1992	RP-013	MIDI Machine Control(MMC)	スタジオ機器類のコントロール(ミキサー等)
1997	RP-016	Downloadable Sounds(DLS) Level1	PCM音源の音色設定用ファイル形式
	RP-017	SMF Lyric Meta Event Definition	SMF中の歌詞データ保存方法の定義(カラオケ等)
1999	RP-024	General MIDI Level2(GM2)	GMの音色数、機能の拡張
	RP-026	SMF Language and Display extensions	歌詞データの文字コードや表示方法の定義(カラオケ等)
2001	RP-025	Downloadable Sounds(DLS) Level2.1	DLSの機能拡張
	RP-027	MIDI Media Adaptation Layer for IEEE1394	IEEE1394上でのMIDIの扱いに関する定義
	RP-033	General MIDI Lite(GM Lite)	モバイル機器での音源、演奏データ等の共通互換仕様(携帯電話等)
2002	RP-034	Scalable Polyphony MIDI(SP-MIDI)	発音数の異なる音源に対応した曲データと音源動作の仕様

DMN-WG 三澤リーダーインタビュー



著作権・ソフト委員会
ソフト規格部会
DMNワーキンググループ
リーダー 三澤洋一

Q 1 : DMN WG発足の経緯と「DMN」の由来についてお聞かせ下さい。

A 1 : MIDIデータ(ファイル)を製作、頒布する際の主な目的は、楽音の再生です。例えば、ある企業がJASARCの管理楽曲を「楽曲データ集」としてFDやCD-ROMに固定し販売する際は、その企業はJASARCに録音物としての使用申請をし、録音物の使用料を支払って許諾を得ています。

ところが、MIDIデータはその再生環境によっては視覚的効果、例えば譜面の表示を伴うことも可能となります。このような場合、JASARCから「録音」以外の権利行使をされるケースも目立ってきていますが、その行使の基準が不明確なままであるのが現状です。

ご参考までに申し上げますと、録音物については『視覚的表示を伴う音楽ソフト』の規程が、ネットでの配信については「第12節インタラクティブ配信」で使用料の規程があるものの、その適用基準がまだ曖昧なんです。

この「譜面表示」機能を、MIDIをはじめとする「デジタルによる音楽演奏データの記述 (Digital Music Notation=DMN)」としてくくり、その著作権的な課題の検討と問題の解決が必要ではないかと考え、著作権・ソフト委員会を構成するソフト規格部会に付属するWGとして設立を提案しました。

「DMN」より「デジタル楽譜」と称した方が一般的には判りやすいと思うのですが、JASARC使用料規程(第4節出版等および第12節インタラクティブ配信)で採用されている「楽譜」と等価かどうかのレベルから考えたいという思いから、敢えてWG名には「DMN」を採用しました。

Q 2 : このWGで取り上げられるテーマについてお聞かせ下さい。

A 2 : 簡単に言うと、紙で出版される以外のデジタル的な方法で、譜面等の音楽情報を頒布する場合の権利処理、使用料のあり方を考えます。頒布手段は録音メディア、インタラクティブ配信の両方を対象にします。

現在は既存のサービスにおいて問題が発生している事例をリーディングケースとして取り上げ、その解決案をWGメンバーで検討しています。たとえば、

1) 再生環境の想定をMIDIデータの頒布者がどのように行うか。

2) 紙で出版される「楽譜」との線引きをすべきか、どうすれば可能か。

3) 音楽演奏(再生)と同時に表示されるか否かで使用料区分をすべきか。

4) プリンタによる印刷が可能か否かで使用料区分をすべきか。

5) 外国曲の使用許諾を簡単に得るためにはどうすればよいか。

などについて、議論を進めています。

Q 3 : WGのメンバー構成を教えてください。

A 3 : 現状で直面する課題を抱えているのは主に電子楽器メーカーですが、この他にも将来に備え同じ問題意識を持つシーケンスソフトメーカー、音楽コンテンツ配信会社、携帯電話キャリア・端末機メーカーなど計13社がメンバーです。

2003年9月11日に発足し、これまで3回のミーティングを行いました。まだスタートしたばかりのWGですので、ご興味のある会員企業様は今からでも是非ご参加ください。

(お問い合わせはAMEI事務局まで)

Q 4 : これからの課題をお聞かせ下さい。

A 4 : DMNの著作権を考えると時の問題の本質を明らかにするとともに、現下のサービスを問題なく進められるようにその対応策も並行して立案しなければなりません。まだ問題の共有の段階ですが、できるだけ早く権利者側への問題提起、具体的な使用の提案、要求等をまとめ、前向きな協議を開始したいと思います。

先ほどJASARCを例にいろいろ申し上げましたが、他の権利管理団体とも同じように調整を進めて行くことになると思います。

また、その過程において、既に円滑に進んでいる他のビジネスにおいて許諾ルールや使用料等が変化するような影響を及ぼさないよう、十分に注意する必要があると認識しています。今後議論を進める中で、現状のソフト規格部会の範囲を越えるテーマが出てきた場合はその対応を改めて考えたいと思っています。

現時点でのDMN関連のビジネス規模は、通信カラオケや着信メロディなどの事業分野とは比較すべくもない程度のもので、MIDIの特長を活かせる領域でもあり、将来登場するであろう新しいビジネスモデルにも柔軟に対応できるように、今からその考え方をまとめておきたいと思っています。

更に、海外に頒布する際の対応に備え、国外での同種問題の取り上げられ方、対応などについての情報収集も行う必要があると考えています。

～お忙しいところ、どうもありがとうございました。～

AMEI 応用研究部会 池内順一部会長 インタビュー

Q：応用研究部会の発足にいたる経緯についてご紹介いただけますか？

A：MIDI規格検討部会とは別に次世代のMIDIを検討する必要がある、とのMIDI幹事会での要請を受け1996年に発足しました。

Q：部会発足時点での活動内容についてご紹介いただけますか？

A：発足当初よりIEEE1394という新しい伝送経路に、オーディオ信号に加えてMIDIを乗せるmLANという話題がヤマハから、又USBにMIDIを乗せる件もローランドより提案され、その勉強会の実施と同時に情報の共有化といったことが会合の中で行なわれました。又、部会では当初、次世代のMIDIを検討する為には現状認識、問題点の抽出を行なう必要がある、との方針になりギター、ドラムといった鍵盤楽器以外から見たMIDIの在り方等の別な側面からの検討も行ないました。

然し、この検討は現状の問題点の抽出に留まり、残念ながら具体的な新規格の方針策定までには至りませんでした。

Q：実際にIEEE1394としてまとめるまでにはかなり大変な作業であったと思いますが？

A：そうですね。mLANと平行してIEEE1394は次世代での各種の拡張機能の応用手法を現実的に検討する材料として各社、実験に参加する方針となりヤマハのボード提供等の協力により1998年 米国でのNAMMショーの際にMMA総会の機会を利用して、各社実験機材を持ちより接続実験デモを行ないました。

ボードはまだ試作段階で、デモ当日の会場でも調整が必要な状態で大丈夫かと心配でしたが無事音を出すことが出来、MMAメンバーからも評価されました。

Q：それでは、現状はどのような状態なのでしょう？

A：その後の部会活動はIEEE1394にMIDIを乗せる為の規格書作成をメインとしたMPWG（MUSICプロトコルワーキンググループ）の活動が主体となり現在に至っています。

更に、MIDIワールドや日本で開催されたIEEE1394TA（トレードアソシエーション）、1999年のNAMM時点でのMMAへのデモ、同年国内に於いては、デジタルミュージックフェアに合わせてセミナーを行なうなど積極的に活動いたしました。

この活動は規格案の最終的なまとめの後、承認段階になった1999年末の時点で応用研究部会から独立し、新たな1394プロジェクトに引継がれ、応用研究部会のワーキンググループとしてはその活動を終えました。

その後新テーマへの取り組みの話もありましたが、



AMEI 応用研究部会 池内順一部会長

実現のためには、1394プロジェクトメンバーと重なることが予想され各社の負担も考慮した結果、現時点では具体的な活動は行なわれておりません。

Q：最後に部会活動の今後の抱負についてお聞かせ下さい。

A：1394プロジェクトが発足するまで、色々なイベントを行ないましたが各社から手弁当で参加して頂き、会社の垣根を取り払って絶大な協力が得られたことで、当初の目的が達成できたのは大きな成果だと思います。

反面、規格策定にはどうしても著作権その他、会社間の問題を調整する必要があり、その難しさを実感しました。

応用研究部会としては原点に戻り次世代のMIDIについて考える必要があると思いますが、ここ数年間の状況を見ると楽器としてのMIDI以外に携帯電話用としての応用が注目されており又、画像処理への可能性も検討されています。

又、楽器演奏情報の伝送を目的とした提案も出てきており、このままでは将来、色々な課題・問題が発生することが予想されます。

MIDI規格は電子関連の規格としては唯一と言っていいほど長い期間にわたり業界標準として運用されている規格で、その恩恵は楽器業界に限らず広く一般に広がり音楽文化への貢献もしていると思います。

ここまで普及しているMIDIですので、新規格の必要性の有無も含め広く皆様から意見を頂き、今後とも引き続き検討を進めていく予定です。

以上

第5回 MIDI検定試験2級 実技試験の実施予定 平成16年2月 東京・大阪で実施

◎主催：社団法人 音楽電子事業協会

協力：日本シンセサイザー・プログラマー協会

後援：アップルコンピュータ(株)、(株)インターネット、
(株)オービットミュージックテクス、カモンミュージック(株)、
(株)メディア、(株)メガフュージョン
ヤマハ(株)、ローランド(株)

◎MIDI 2級検定試験の目的

発展を続けるマルチメディア社会の中で、文字や映像等と並び、重要な要素の一つに音／音楽があげられます。この音／音楽の中心的役割を果たしているのが、MIDI規格です。MIDI規格は、電子楽器の制御プロトコルとしての活用はもとより、電子音楽のソフトウェア、コンピュータネットワークでやり取りされる音楽データや通信カラオケ、携帯電話の着信メロディの送受信データにいたるまで、音楽電子の事実上の標準規格となっています。このような状況のなか、MIDIを使った音楽制作の現場ではMIDIに関する知識をもち、データの制作や・監修ができる人材が求められています。2級検定試験では、このような音楽制作現場で即戦力として活躍できる人材の認定を行うものです。従って認定試験のレベルは高度な水準を求めています、企業現場に音楽制作のプロとして推薦できる人材の育成と認定を目指すものです。

◎MIDI検定試験2級2次実技試験の実施要綱

- 試験内容：MIDIデータ入力及び編集技能の実技試験、機材設定から課題項目制作まで課題曲スコアを参照し未完成MIDIデータにシーケンサー入力（未完成部分の入力、修正、編集等）し、MIDIデータを完成させる。90分。
- 使用コンピュータ：Macintosh (OS10)、Windows (XP)
- 使用シーケンサーソフト：Digital Performer、Logic Gold、Cubase SX、Recomposer、
Cakewalk SONAR 3、SOL 2、Singer Song Writer
- 受験料：10,000円
- 受験資格：2級筆記試験合格者
- 試験日時及び会場
 - ・東京会場：（Windows使用会場）平成16年2月14日（土）、15日（日）、16日（月）
FORUM8（新大宗ビル1号館509号室）
東京都渋谷区道玄坂2-10-7
（Mac使用会場）平成16年2月28日（土）、29日（日）
アップルコンピュータ株式会社 セミナールーム
東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー48F
 - ・大阪会場：（Windows&Mac使用会場）平成16年2月21日（土）、22日（日）
マイドームおおさか8F 第一&第二研修室
大阪市中央区本町橋2-5
- 応募期間及び応募方法
 - ・期間：平成15年12月10日（水）～平成16年1月20日（火）
 - ・方法：所定の郵便振込用紙にて受験料の振込み（受験願書にもなっている）
- 合格発表：16年3月25日（木）にmidilicense.com（ホームページに発表）
過去の累計合格者：383名

第7回AMEI MIDI規格委員会主催 MMA Meeting出席及び NAMM International Music Market 2004ビジネスツアー募集

MIDI規格委員会では、今年もMMA Meeting / NAMMビジネスツアーの参加者募集を下記の通り実施いたします。このビジネスツアーでは、NAMMショーの視察に加えて、MMA (MIDI Manufacturers Association) 総会も開催され多くのMMAメンバーも一同に会するこのNAMM期間中に現地にて

AMEI / MMA合同会議を開催し、相互の理解を深めることも合わせてその目的としています。

この会合に参加希望されない会員様には、全日自由行動となっていますので、NAMM2004の視察又は現地での商談などに、このツアーの利用をお勧めいたします。

催行期間: Aコース: 2004年 1月14日(水) ~ 1月20日(火) 5泊7日

Bコース: 2004年 1月14日(水) ~ 1月19日(月) 4泊6日

旅行費用: Aコース: 168,000円(一人部屋追加代金: 75,000円)

Bコース: 153,000円(一人部屋追加代金: 60,000円)

利用予定航空会社: 日本航空・全日空・ノースウエスト航空・ユナイテッド航空

利用予定ホテル: デラックスクラスのディズニールンドホテルを確約いたします。

最少催行人員: 10名

申込締切: 2003年12月19日(金) ※以降空き状況確認の上ご対応いたします。

その他の都市、期間の延長などのアレンジも可能です。ご相談ください。

Aコース	Bコース	地名	現地時間	交通機関	予定	食事
1月14日 (水)	1月14日 (水)	東京(成田)発 ロサンゼルス着	午後 午前	航空機 専用車	空路、ロサンゼルスへ(直行便利用) 着後専用車にてホテルへ ＜アナハイム泊＞	夕: 機内 昼: X 夕: X
1月15日 (木)	1月15日 (木)	アナハイム滞在			AMEI/MMA Unofficial-Meeting (NAMM2004視察) ＜アナハイム泊＞	朝: O 昼: X 夕: X
1月16日 (金)	1月16日 (金)	アナハイム滞在			(NAMM2004視察) ＜アナハイム泊＞	朝: O 昼: X 夕: X
1月17日 (土)	1月17日 (土)	アナハイム滞在			AMEI/MMA Official-Meeting (NAMM2004視察) ＜アナハイム泊＞	朝: O 昼: X 夕: X
1月18日 (日)		アナハイム滞在			MMA総会参加 (NAMM2004視察最終日) ＜アナハイム泊＞	朝: O 昼: X 夕: X
1月19日 (月)	1月18日 (日)	ロサンゼルス空港へ ロサンゼルス発	朝 午前	専用車 航空機	空港へ 空路、帰国の途へ(直行便) ＜機中泊＞	朝: O 昼: X 機内
1月20日 (火)	1月19日 (月)	東京(成田)着	午後		通関後、自由解散	機内 (軽食)

ご注意: この期間は見本市開催のためホテル事情は極めて厳しい状況となっております。お早めの申込をおすすめいたします。
日程変更・別手配、通訳の手配などトータルでアレンジさせていただきますので、ご希望の方はお問合せください。

費用に含まれるもの

- | | |
|---|--------------------------------------|
| (1) 日程表に記載した航空運賃エコノミークラス運賃(成田空港発着基準)、空港-ホテル間の専用送迎バス、団体行動中のチップ | (3) お一人様スーツケース1個の手荷物運搬料(各航空会社の規定範囲内) |
| (2) 日程表の滞在都市ホテル宿泊料金及び税金・サービス料(ツインルームに2名様宿泊) | (4) 団体行動中にドライバー・ガイドに支払うチップ |
| | (5) 期間中の朝食 |
| | (6) 海外傷害保険(団体掛け) |

費用に含まれないもの(上記に記載のないものは旅行代金に含まれません。その主なものを例示します。)

- | | |
|---|---|
| (1) 個人的性格の諸費用(電話代、クリーニング代、飲物費等) | (7) ホテルシングルルーム利用の場合の追加代金 |
| (2) 渡航手続き諸費用(新規旅券申請のための旅券印紙代、新規旅券申請書類代行作成費用等) | (8) 米国空港税(約5,000円)、成田空港施設使用料(@2,040円) |
| (3) 超過手荷物運搬料金 | (9) 航空機ビジネスクラス利用の場合の追加料金(@別途ご案内いたします) |
| (4) 現地宿泊ホテル-NAMM会場間の交通費 | (10) 任意の海外旅行傷害保険(個々のお客様から依頼のある海外旅行個人任意保険) |
| (5) 日程表記載以外の国内移動費用 | (11) NAMM入場券 |
| (6) 現地オプションツアー代金(別途料金の小旅行) | |

旅行企画: (社)音楽電子事業協会MIDI規格委員会

旅行主催:  国土交通大臣登録旅行業第64号
株式会社ジェイティービー

お問合わせ、お申込みは:

社団法人音楽電子事業協会 まで
TEL 03-5226-8550 FAX 03-5226-8549
または webmaster@amei.or.jp



会員名簿 (五十音順)

2003/11/30 現在

あ 株式会社アイ・オー・データ機器 株式会社アイシックス アイデックス音楽総研株式会社 アカイプロフェッショナルエムアイ株式会社 アップルコンピュータ株式会社	い 株式会社インターネット インフォコム株式会社	え 株式会社エクシング NECエレクトロニクス株式会社 N T T コミュニケーションズ株式会社 エヌ・ティ・ティ・ビジュアル通信株式会社 株式会社エフオート 株式会社エム研 株式会社エムゾーン 株式会社エンターブレイン	お 沖電気工業株式会社 株式会社音響総合研究所	か カシオ計算機株式会社 カモンミュージック株式会社 株式会社河合楽器製作所	き 株式会社キューブ 京セラ株式会社	く 株式会社グリオ クリムゾンテクノロジー株式会社	け K D D I 株式会社 株式会社コルグ	こ コロムビア音響工業株式会社 株式会社コンポジット	さ 株式会社サイバード 株式会社サクセス 株式会社サミーネットワークス 株式会社三愛ギガネットワークスカンパニー	し 株式会社シーティーエー 株式会社シーミュージック	J-フォン株式会社 高村楽器株式会社 株式会社JEUGIA 学校法人 尚美学園	す 株式会社ズーム 株式会社鈴木楽器製作所	せ セイコーインスツルメンツ (株) (株) セガ・ミュージック・ネットワークス	そ ソニーサウンドコミュニケーション株式会社	た 株式会社第一興商 株式会社タイター 株式会社タムラ製作所	つ 株式会社ツーカーセルラー東京	て ティアック株式会社 株式会社デノン 株式会社電波新聞社	と 東映ビデオ株式会社 株式会社ドワンゴ	に ニフティ株式会社 (学) 片柳学園 日本工学院専門学校 日本シンセサイザープログラマー協会 (学) 電子学園 日本電子専門学校 日本ビクター株式会社	の ノキア・ジャパン株式会社	は バイオニア株式会社 株式会社ハドソン パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社	ひ ピーエムビーソフト株式会社 ビクターレジャーシステム (株)	ふ 株式会社フェイス フォスター電気株式会社 フォステクスカンパニー	株式会社フォーサイド・ドット・コム 株式会社フュートレック 株式会社プリマ楽器	ま 松下電器産業株式会社	み 三木楽器株式会社 三井物産株式会社 有限会社ミュージカルブラン (株) ミュージック・シーオー・ジューピー 株式会社ミュージックネットワーク ミュージックノート株式会社	め 株式会社メロディーズ アンド メモリーズ グローバル	も 株式会社モリダイラ楽器	や ヤマハ株式会社 財団法人ヤマハ音楽振興会 ヤマハミュージックトレーディング (株) (株) ヤマハミュージックメディア	ゆ (株) ユーズ・ピーエムビーエンタテインメント	ら 株式会社ラグナヒルズ	り 株式会社リットーミュージック 株式会社リムショット	ろ ローム株式会社 ローランド株式会社	わ 株式会社ワキタ ＜以上 正会員会社 88社＞ ＜賛助会員＞ 中音公司 (中国) 株式会社博秀工芸 株式会社ミュージックトレード社 ＜以上 賛助会員会社 3社＞
---	---------------------------------------	---	--------------------------------------	--	---------------------------------	--	-------------------------------------	---	---	---	--	------------------------------------	---	----------------------------------	--	----------------------------	---	-----------------------------------	--	--------------------------	---	---	---	---	------------------------	---	--	-------------------------	--	-------------------------------------	------------------------	--	----------------------------------	---



AMEI事務局に無線LAN敷設のご案内

AMEI事務局に無線LANが敷設されましたので、お知らせ致します。

◇設定・ネットワーク名 (ESS-ID) : AMEI

・ネットワークキー (WEP) : *****

(事務局にお越しの際にご確認下さい)

◇仕様・54Mbps (IEEE802.11g) と11Mbps (IEEE802.11b) の同時通信

・DHCPサーバ割り当てIPアドレス 16台

ご利用頂くためには、お持ち込みのパソコンが無線LANに対応している必要があります。

会議等でお越しの節は是非ご利用下さい。

「NHK趣味悠々」放送のご案内

とってもやさしい！中高年の為のパソコン講座
パソコンで音楽を楽しもう

■放送：教育テレビ／毎週火曜日

午後10時～10時25分

■再放送 (翌週)：教育テレビ／毎週火曜日

午後0時30分～0時55分

■放送機関：2003年11月～12月

■HP：http://www.nhk-book.co.jp/

magazine/special/0211.html